

※詳細につきましては、連絡先にお問い合わせください。

お習字を教えるボランティア

施設名 | ティサービスセンター梅の実 (元気力アップサポーター受入施設)
活動内容 | お手本の文字を書く、アドバイス等
 毎週木曜日 午後2時～3時
 ※毎週でなくても良いが、毎週きてもらえるとありがたいです。
 道具は全て施設で用意します。
 交通費を用意します。
連絡先 | 新潟市西区小新大通2丁目1-2 8
 ティサービスセンター梅の実(担当:本間) 電話:025-234-4666



喫茶お手伝いボランティア

施設名 | 青松ワークス (元気力アップサポーター受入施設)
活動内容 | 飲み物づくり(リキッドをグラスに注ぐだけ)※検便不要
 月・水・金 午前11時～14時半のうち都合のいい曜日・時間
 知的障がいのある利用者さんの作業のお手伝いも募集しています！
連絡先 | 新潟市西区上新栄町1丁目2-12
 青松ワークス(担当:荒井) 電話:025-269-7303



平成29年度 ボランティア保険のお知らせ

平成29年度分の「ボランティア活動保険」「ボランティア行事用保険」の受付を

平成29年3月1日(水)より開始します。

平成29年4月1日以降のボランティア活動や行事がある場合は早めにお手続きをお願いします。

※ご注意ください※

- ① 保険加入用紙は年度ごとに変ります。お手元にある今年度の用紙は平成29年度分には使用できません。
 - ② 行事用保険は行事内容によって加入プランが異なります。
- 不明な点は西区ボランティア・市民活動センターまでお問い合わせください。

QRコードで簡単アクセス



社会福祉法人 新潟市社会福祉協議会
 西区社会福祉協議会ホームページ



社会福祉法人 新潟市社会福祉協議会
 西区社会福祉協議会 facebookページ

編集後記

あっという間の9ヶ月… 社会人1年生として春から勉強の日々ですが、そんな中でも沢山の人と関わり沢山の笑顔や刺激を受けることが出来ました。これからもますます頑張りますのでよろしくお願います!! (石川)

発行先

新潟市西区社会福祉協議会
ボランティア・市民活動センター
 新潟市西区寺尾東3-14-41 健康センター棟1階
 TEL:025-211-1630 FAX:025-211-1631

ぼらちゃん

第8号
 2016.12.1発行

演劇ボランティアをしているが、慣れていたので施設と事前の打ち合わせなんて面倒くさい。

↳ 受け入れる側は初めてのことで何分らないこともありますし、気持ちよく演劇してもらうための準備をしたいと考えているところもあります。お互いが気持ちよく活動するためには事前の打ち合わせは大切です。

「主人が亡くなってからひとり家でいることが多かったが、ティサービスセンターでお茶出しのお手伝いを始めた。自分のことを待っていてくれる人がいて嬉しい。」

頼まれたから行ってあげているだけ。

↳ 自分の意志でないのなら、行かないという選択もあります。かえって迷惑になっていることも…。断る勇気も必要です。

ボランティアの表裏

「自分の親がお世話になった施設に恩返しがたくて、傾聴ボランティアとしてその施設で活動している。施設の担当職員の方がしっかりしているので安心して活動できている。日々勉強になります。」

1時間2,000円で楽器演奏のボランティアをします。

↳ ボランティアは無償の活動です。活動そのものに対しての報酬はボランティアの原則に反します。しかし、交通実費や食事代等の“実際にかかってしまう経費”については受け取っても問題ありません。

「自分が子どものころに横断歩道で見守りをしてもらっていた。大人になったので今度は自分が見守り活動をしたい。」

歌のボランティアをしている。

自分が得意な歌を施設の利用者さんにずっと聞いてもらっている。
 ↳ 利用者さんが若いころに流行った歌をとり入れてみてはどうでしょうか。一緒に唄うように促しながら活動すると喜ぶ方が増えると思います。

ボランティアとは

『自ら・誰かのために・みかえりを求めず・新しいことにチャレンジする』活動です。
 — 誰かのためにもなって、自分のためにもなっている — こんな気持ちで活動できるのはボランティアならではの良さです。しかし、ボランティアには難しい一面もあり、一方的な善意が相手の迷惑になっていることもあります。相手があってこそボランティア・お互いの心が満たされるのがボランティアだということを多くの方に知ってもらえたいです。

特集1 ～西区こども食堂MAP～

今、全国的に広がりを見せている「こども食堂」。
孤食を防ぎ、地域の大事な居場所として西区で立ち上がった3ヵ所の「こども食堂」を紹介します。

**ゆやけこどもけやき食堂
喫茶けやき**

住所 西区上新栄町3-4-83

営業時間 毎月第1木曜・第3火曜
16:30～20:00 (18:00～夕食)

**みんなの食堂
マナの家**

住所 西区西有明町2-5

営業時間 ※期間限定(夏・冬・春休み)

**にしっこ食堂
護念寺**

住所 西区新通1973

営業時間 毎月第2・第4金曜
17:00～19:30

特集2 ～地域包括ケアに向けて～

超高齢化が進み、2050年には1人の若者が1人の高齢者を支えなければならない時代来ると予想されています。そんな時代を支えていくためには、困りごとがあった時に、近くに住んでいる人同士が助け合えるような関係を築いていることが大切です。そのためには、どのようなことが必要なのでしょうか。ご自宅の近くの施設でボランティアをしている方と、施設の職員にお話を伺いました。

**小規模多機能ホーム ハビネス
管理者 矢尾板さん**

ボランティアさんには、職員では分からないような地元のお話をしてもらっています。地域に住むボランティアさんと、地域で暮らす利用者さんが話すことはとても自然なことです。このような“自然な関係”は、地域の方だからこそ出来ることだと感じています。



**ハビネスでボランティアしている
Kさん**

家から近くて通いやすく、施設の職員さんの顔が分かる関係だからこそ、何かあった時に助け合えるのではないかと考えるようになりました。利用者さんとお話をする中で、自分の地域のことや、違う地域のお話も聞かせてもらえるので楽しいです。

ボランティア活動をきっかけに、施設の方と顔の見える関係になるのも良いですね。
興味のある方はお近くの施設でボランティア活動してみませんか？

報告1 福祉教育情報交流会

8月5日に小中学校などで行っている“福祉教育”に関わっている方をお招きして、交流会を開催しました。学校からは先生や地域教育コーディネーター、地域からは主任児童委員、さらに、いつも総合学習にご協力いただいている当事者団体の方にご参加いただきました。

今回はアイマスクや耳栓をつけた状態でみんなの誕生日を把握し、早く生まれた順に並ぶ「バースデーリング」をしました。また、リオパラリンピックでは開催国ブラジルが優勝をおさめた「ブラインドサッカー」の体験も行いました。どちらの体験においても参加者の皆さんに知ってほしかった点は、アイマスクや耳栓をした状態で相手とコミュニケーションをとるのは大変なことではなく、自分の“伝えたい・知りたい”という気持ちが大切だということです。この体験のあと、子どもたちにどのようなことを学んでほしいか話し合っていました。



報告2 災害ボランティアセンター設置訓練

全国各地で起きている地震や風水害。そこで活動するボランティアと現地の方が必要としている支援の調整をする「災害ボランティアセンター」はなぜ社協が設置するのか？協働型災害ボランティアセンターとは？を学ぶために9月17日(土)コスポを会場に、立上げ訓練を行いました。新潟青年会議所の皆さんと一緒に学び、模擬訓練を通してつながりを深めることができました。

